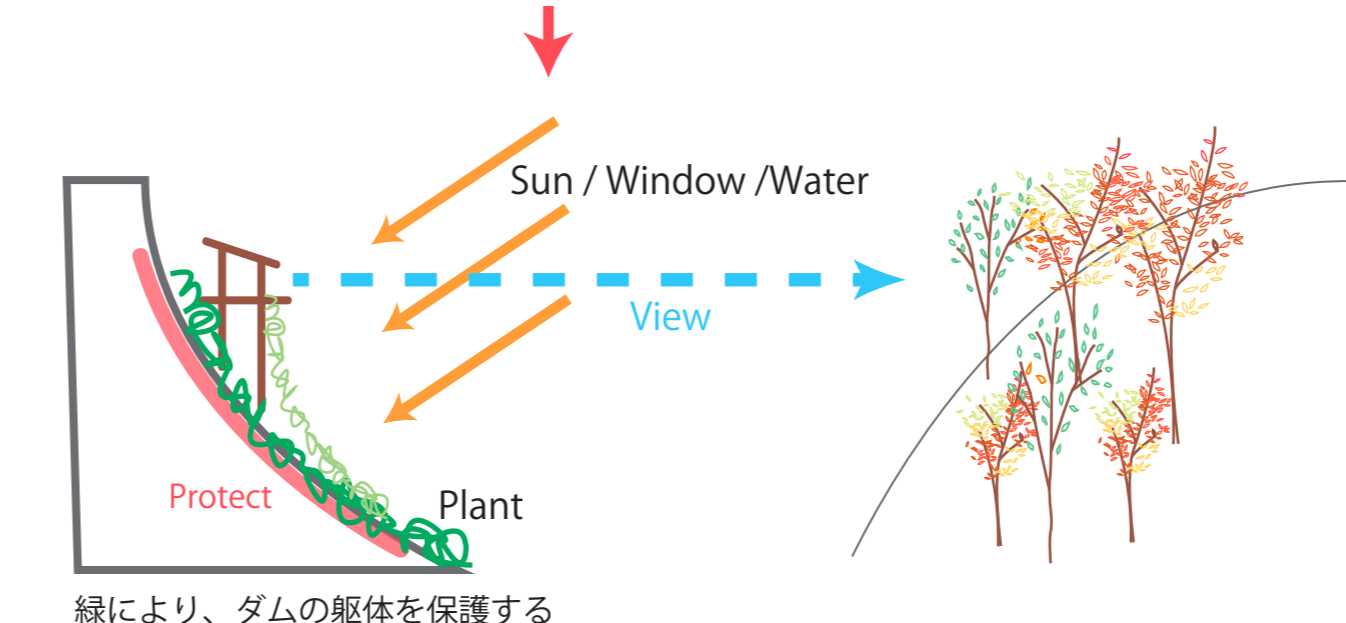
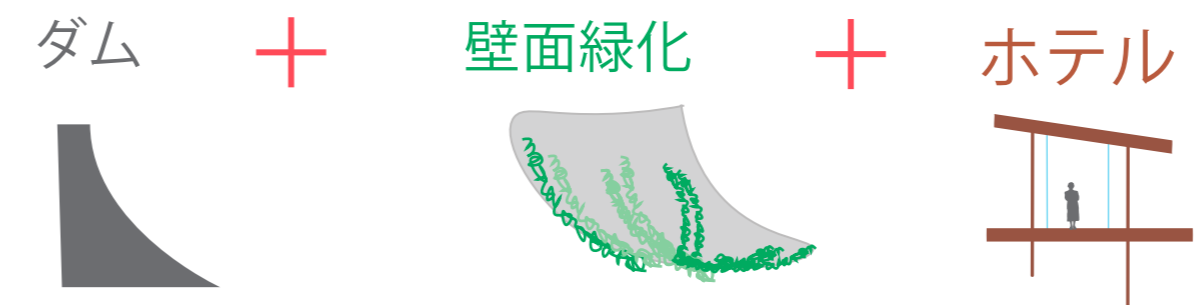




# GREEN NET

—自然とダム、人を結ぶ—



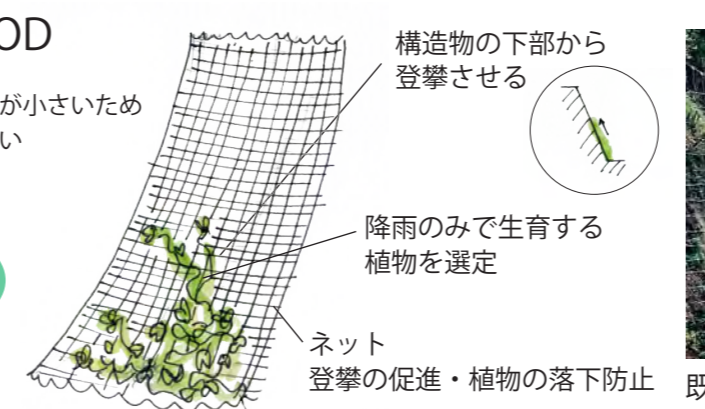
緑により、ダムの躯体を保護する

## CONSTRUCTION METHOD

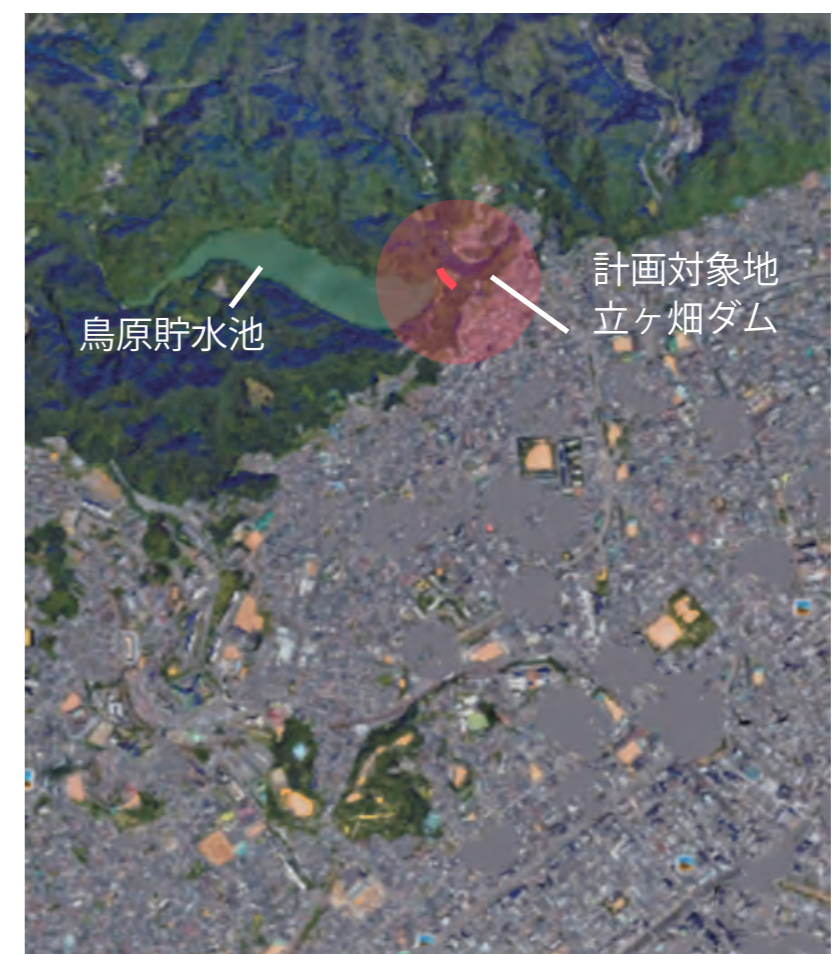
北壁面緑化

乾燥しにくく温度差が小さいため生育が良い植物が多い

- ソタ
- ビグノニア
- オオイタビ
- キスタ



既存の落石防護網カーテンネットの技術を応用



**SITE**  
 神戸市立ヶ畑ダム  
 —老朽化した近代土木遺産—  
 敷地は兵庫県神戸市兵庫区に位置する立ヶ畑ダム。  
 J R三ノ宮駅から北野異人館などの観光名所を経由するバスで約 10 分にある。

立ヶ畑堰堤は神戸市水道の創設工事の一環として明治 38 年に完成したダムであり、完成後 100 年以上を迎えた現在、老朽化が進行している。

堰堤表面をネット状の緑化を用いて保護し、展望台や転用可能な宿泊施設を併設させることで、日本が誇る土木技術を継承しつつ四季折々の自然の美しさを感じさせる空間を提案する。



堰堤（貯水池側）完成時から変わらない眺望



堰堤（北側）度重なる放水、風化により表面は老朽化

古く老朽化したダムは不必要な人工物と思われる。しかし取り壊すと再び自然に人の手が加えられ、生態系への影響が懸念される。そこで老朽化したダムを残しつつ 10 年、50 年先も保持できるあり方を考える。コンクリートの老朽化を防ぐダム表面の緑化に加え、宿泊機能を併設させ、外国人観光客を呼び込む空間を提案する。



内観イメージ 窓越しに美しい山並みの眺望を望む



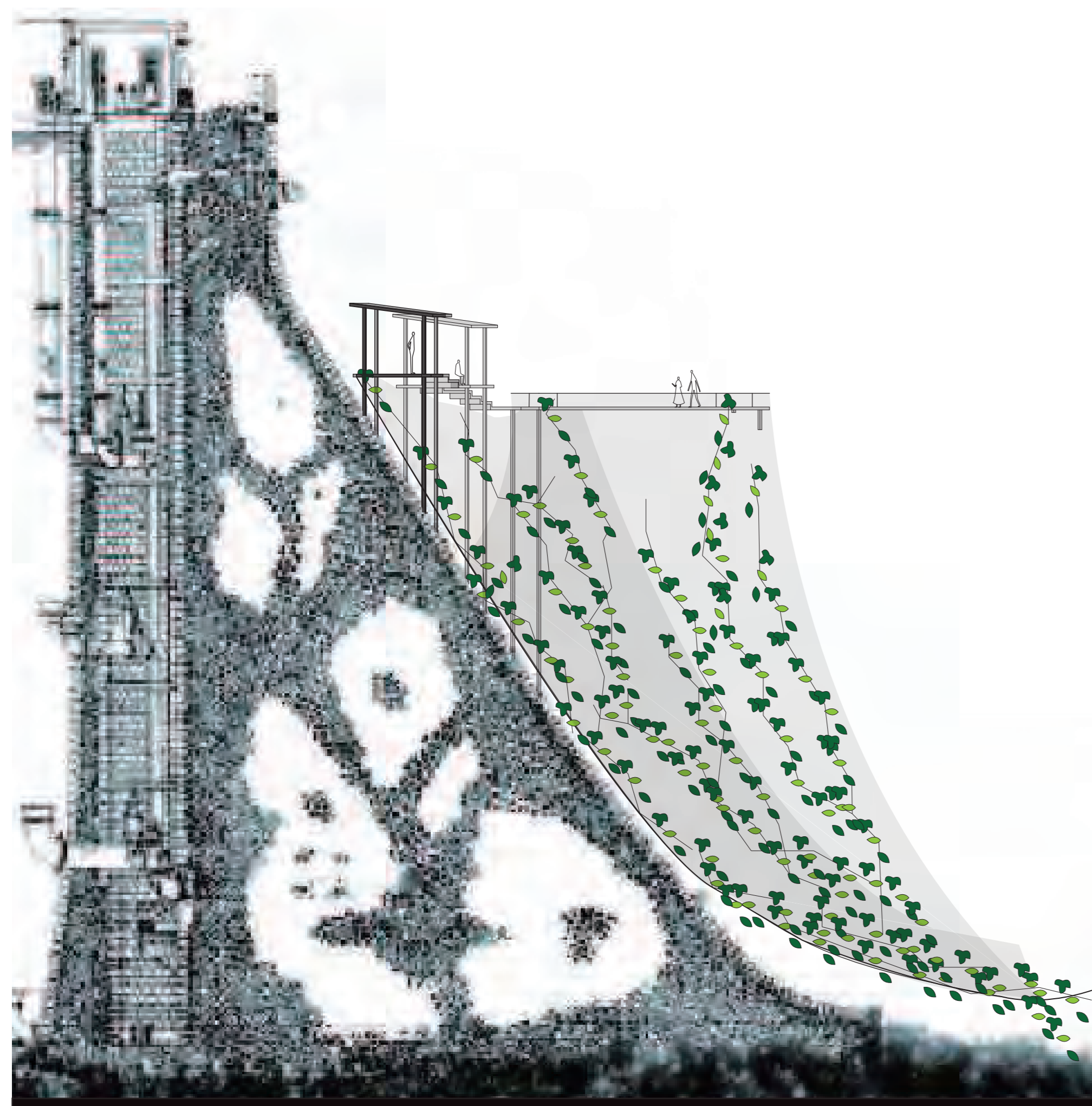
全体の配置 回遊性を持った遊歩道・緑化ネットで全体を覆い、つなぐ



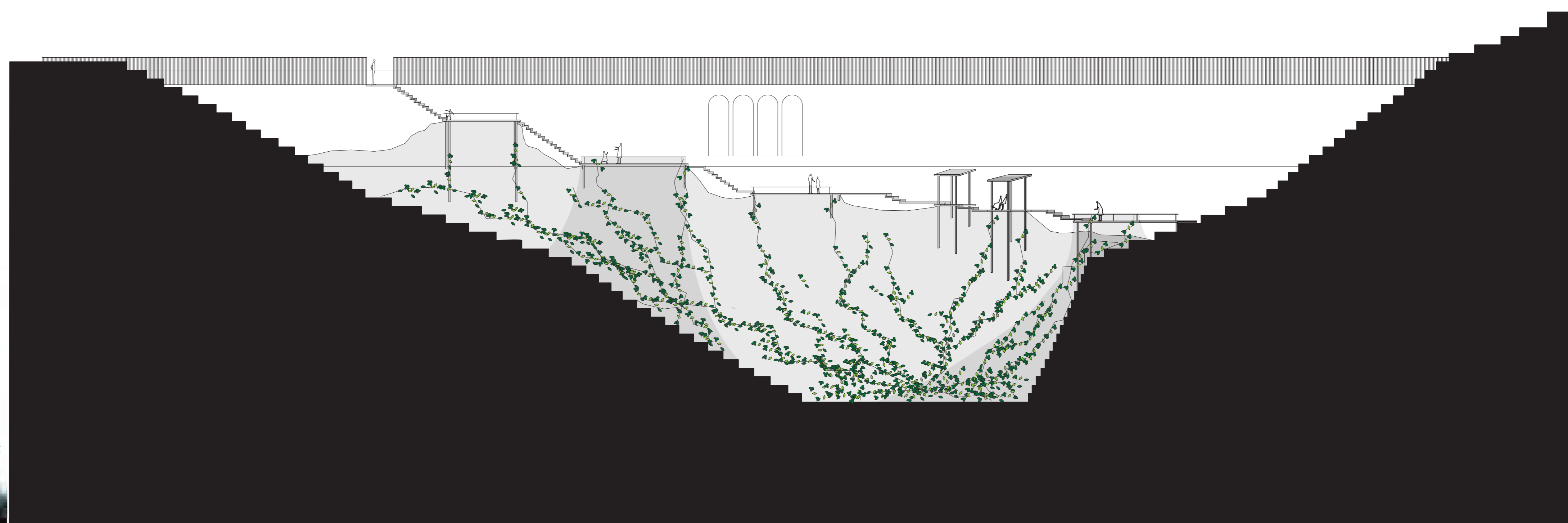
重なり合った緑化ネットと小屋、遊歩道



展望台からの眺め 美しい紅葉の眺望



SECTION S=1/150



NORTH ELEVATION S=1/200